

# 認定看護師CN NEWS VOL.8

2015年10月 第8号



## 認定看護師の活動や情報を紹介します



### 皮膚・排泄ケア認定看護師になって 6階東ナースステーション 本間美穂

研修を修了し皮膚・排泄ケア認定看護師になりました。皮膚・排泄ケア分野は、創傷・オストミー・失禁の問題を有している患者さんに対し、スキンケアの知識を元に、患者さんのQOL向上を目指し看護を行います。現在は、消化

器・移植外科病棟に勤務し、ストーマ造設する患者さんの看護を行っています。排泄はその人の尊厳に関わる重要な問題です。できるだけ手術前と変わらない生活ができるよう、支援していきたいと考えています。



### 認知症看護認定看護師になって 10階西ナースステーション 内山寛美

認知症看護認定看護師の役割は、患者さんの日常生活活動レベルの低下を最小限にし、認知症症状の悪化がないよう環境を調整する事です。研修では環境の重要性、病気を持った人ではなく生活者としての視点の重要性を学びました。認知症症状は脳の委縮部位と範囲、環境により変化します。脳の委縮に特効薬はありませんが、環境は調整可能です。認知症症状と療養環境について多くの方に理解を深めていただき、認知症の症状の悪化がなく地域へつなげられるよう活動していきます。



### 糖尿病看護認定看護師になって 7階東ナースステーション 平間幸子

当院で3人目の糖尿病看護認定看護師になりました。現在は7階東ナースステーションで勤務しています。糖尿病患者さんが疾患を持ちながらも、その人らしく治療を続けながら日常生活を送ることができるよう支援しています。また、病棟では糖尿病患者さんのフットケア回診も行っています。外来では、透析予防・フットケア外来を実施しています。インスリン自己注射やフットケアなどの療養行動への支援、糖尿病看護にお困りのことや疑問に思うことがあればご相談ください。



### 研修案内 看護フェア 緩和ケア認定看護師 杉山久美

11月6日、7日に看護フェア「看護体験と看護相談」を開催します。認定看護師が集合し、ベットサイドで活用できるワンポイントレクチャーや演習を行います。昨年度は、参加者から「楽しかった。身近に感じ、相談しやすかった。」などの感想があり、今年はいよいよ一層参加者に身近でベッドサイドケアに活用できるテーマとしています。また、今年には生涯教育講座として院外の看護師や看護学生も参加できます。ぜひ皆さん、各分野の認定看護師と触れ合い、看護技術の再確認や看護の楽しさを再発見しに来てください！





# ベットサイドケア豆知識



## ドレーン固定方法について

9階東ナースステーション 集中認定看護師 上北真理



ドレーンなどのチューブ類の自己抜去防止対策は、どの部署においても重要な課題だと思いますが、固定方法を工夫することで、トラブルが回避できます。

【方法】1. 土台を刺入部から近い位置に貼付する。2. チューブを一周するように固定用のテープを貼付し土台に固定する。3. 固定用のテープを補強する。4. テープの端にマーキングする。固定内でのチューブのずれや、チューブによる直接的な皮膚の圧迫も防ぐことができます。ぜひ実践してください。



## ポート管理について

点滴センター がん化学療法看護認定看護師 岩崎真実



化学療法の増加にともない、CVポートを挿入する患者さんが多くなってきています。CVポートの管理で大切なことは、適切な針の長さの選択と固定です。針の長さが不適切だと寝返りや上肢の拳上、前屈などの体動時に針が浮き、自己抜針や血管外漏出の原因となります。当院では22G3/4インチ（19mm）と22G5/8インチ（16mm）の2種類があります。翼状針と皮膚の間に隙間がない針を選択するのが理想ですが、隙間が大きい場合は、翼状針と皮膚の間に滅菌ガーゼ（点滴センターでは眼科用角綿）を折って挟み固定します。ぜひ実践してください。



## 保湿剤の塗布方法について

看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 上野直美



気温が低下し、患者さんの全身皮膚乾燥が目立つ時期となってきました。予防的スキンケアの観点から、毎日の保湿剤塗布は重要な看護ケアです。しかし、十分な量の保湿剤を塗布しなければ、保湿効果が得られません。軟膏やクリームは、人差し指の先から第一関節まで伸ばした量（図1）、ローションタイプの場合は、1円玉大の量（図2）です。それぞれの量で、およそ手の面積2枚分（図3）に塗れます。ぜひ実践してください。

